

会議録（概要）

会 議 名 称	令和7年度 第2回愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会		
開 催 日 時	令和7年9月25日（木） 午前10時から午前11時40分まで		
開 催 場 所	愛西市役所 北館3階 災害対策本部兼会議室1， 2		
出 席 者	別紙のとおり		
欠 席 者	出口さとみ委員、水野恵介委員、神田善郎委員		
公開・非公開	公開		
傍聴人の数	0人		
審 議 事 項 等	●審議事項 （1）地方創生臨時交付金（令和6年度実施分）を活用した事業に関する効果検証について （2）第2次愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業評価について （3）次期総合戦略の指標設定について ●その他		
会 議 資 料	・次第 ・委員名簿 ・会場配席図 ・愛西市の人口 ・まち・ひと・しごと創生総合戦略（本冊） ・資料1-1 地方創生臨時交付金を活用した事業に関する効果検証について（令和6年度実施分） ・資料1-2 評価方法 ・資料2-1 第2次愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略総合評価・検証結果 ・資料2-2 第2次愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 評価 ・資料3 地方創生プロジェクト案 ・【参考】指標の集計方法		
審 議 経 過	別紙のとおり		
議 事 録 の 確 定			
確 定 年 月 日		署 名	
令和7年10月14日		署名委員 加藤 大典	

愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員

役 職	氏 名	備 考
会 長	千頭 聡	
副 会 長	加藤 洋平	
	川上 哲広	
	和田 朋幸	
	出口 さとみ	欠 席
	安田 清時	
	水野 善弘	
	加藤 憲治	
	平井 直人	
	水野 恵介	欠 席
	加藤 大典	
	大園 一麿	
	小島 竹志	
	水野 秀俊	
	米澤 正	
	佐藤 善昭	
	渡邊 康子	
	土赤 摂津子	
	恒藤 貴哉	
	横井 敏彦	
	神田 善郎	欠 席

職務のために出席した職員

役 職	氏 名	備 考
市 長	日永 貴章	
副 市 長	清水 栄利子	
市民課長	橋本 創	
シティプロモーション課長	伊藤 義幸	
財政課長	堀田 毅	
総務課長	伊藤 靖幸	
健康推進課長	猪飼 政和	
子育て支援課長	前野 輝次	
産業振興課長	清水 直樹	
都市計画課長	佐藤 政樹	
企業誘致課長	藤澤 寿章	
市民協働課長	石原 優雅	
危機管理課長	山田 光正	
学校教育課長	伊藤 光	
生涯学習スポーツ課長	青木 万亀雄	
社会福祉課長	水野 裕公	
発達支援センター長	渡邊 志保	

事務局

役 職	氏 名	備 考
企画政策部長	西川 稔	
企画政策部参事	大森 知孝	
企画政策部経営企画課長	渡邊 典夫	
企画政策部経営企画課課長補佐	若松 孝志	
企画政策部経営企画課主事	青木 智史	

審 議 経 過

発言者	内容（概要）
	開会
事務局	資料の確認 会議の公開と傍聴について〔愛西市審議会等の会議公開に関する要綱第3条〕 会議録の作成〔愛西市審議会等の会議公開に関する要綱第11条〕
会 長	1. あいさつ ＜会長あいさつ＞
市 長	＜市長あいさつ＞
会 長	2. 会議録署名委員の指名 ＜議事録署名委員として加藤大典委員を指名＞
事務局	3. 議題 （1）地方創生臨時交付金（令和6年度実施分）を活用した事業に関する効果検証について ＜資料1－1～資料1－2について 事務局より説明＞
会 長	この事業は市の独自ではなくて、国が定めた事業ですから、国の指示の通りに進めたという評価でよろしいですか。
事務局	はい。
会 長	それでは、この内容で了解いただけたということで、続いて議題（2）についてお願いします。
事務局	（2）第2次愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業評価について ＜資料2－1～資料2－2について 事務局より説明＞
会 長	4つの基本目標の取組、指標などについてご説明いただきました。内容についてお気づきの点がありましたらお願いします。
委 員	資料2－1の2ページ目の第2次愛西市総合計画人口ビジョンですが、パターン1、2、3より黄色の実績の線が上回っているということは、想定より実績が上回っているから良いという評価ですか。人口の減少具合を想定と比較してダメだという評価ですか。スタートの人口数が異なっているため、どのように捉えると良いか教えてください。

事務局	<p>スタート値の 63,088 人という数字は国勢調査の数字になっております。65,020 人は直近値をとるために住民基本台帳の数字になっております。集計方法の誤差が当初から発生しておりますが、その差を考慮しても、グラフのグレーの値に近い数字にはなると考え、一定の評価をしております。</p>
委 員	<p>人口の減少具合を考慮し、なるべくグレーの傾斜に近づけるように持っていくべきという考え方でよろしいですか。</p>
事務局	<p>はい。グレーの傾斜になることが望ましいと思います。若者の数を増やさないとグレーの動きにはならないと思いますので、努力が必要だと感じております。</p>
会 長	<p>パターン 2 と 3 は合計特殊出生率を 2.07 まで上昇と書いてありますが、愛西市の合計特殊出生率はそこまで高くないですね。転出が少なく、転入が多かったという社会増の結果があったという理解でよろしいですか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委 員	<p>資料 2－2 の見方について、1 番上に基本目標のビジョンを記載しており、その下に目標における指標があり、さらに下に目標指標を達成するための施策指標が来ていると思います。基本目標 1 では、基本目標に対しての KPI は「S」評価と「A」評価になっています。これは、具体的施策の指標で「C」評価という悪い評価の施策を重点課題として取り組むと、この基本目標の指標は、「S」評価に変わるという見方でよろしいですか。</p>
事務局	<p>まず、施策 1－1 の「C」評価の部分ですが、指標としてふさわしくなかった部分になると思っております。企業誘致が進めば、働く人が増えるという見込みでこの指標を立てましたが、実際は市外雇用が多く、市内雇用が進んでいるとは言い難い状況です。しかし、市内非正規雇用の累計は 100 人程度に達しておりますので、非正規雇用も含めた指標を設定すれば、評価としては良かったと思います。</p>
会 長	<p>施策の指標が上がれば目標の指標が上がるといった、直接的に指標を関連付けていくのは難しく、指標の限界はあると思います。</p> <p>しかし、全体として結果は出ていて、「C」評価の部分の原因は分析しているということですね。</p>

委 員	資料２－２の「工業団地内新規企業における新規地元雇用者」の指標の目標値ですが、令和７年度に突然数字が上がっているのはなぜですか。
会 長	令和６年度までは実績の数字なので、逆に言うと、目標と実績に乖離があるということですね。
委 員	そうすると目標が高すぎたと思いますので、見直しをする時にもう少しお考えになった方が良くないと思います。
会 長	基本目標３について、出生数は減少していて、令和６年度の実績が２６６人となっていますので、この傾向が続くと、場合によっては学校の再編など、様々なところに繋がってくる可能性がございます。
委 員	基本目標４の施策４－２の公共施設の延床面積に「Ｃ」評価がついていますが、減らせなかった理由があれば教えてください。
職 員	<p>平成２９年に愛西市公共施設等総合管理計画の中で、公共施設の延床面積を３０年で３０％縮減することを目標として設定しました。ただ、現在ほとんどの施設が利用されているので、なかなか縮減が進んでいない状況です。計画の策定から８年程経っていますが、目標に達していない状況です。</p> <p>施設そのものはかなり老朽化が進んでおりますので、今後縮減や統廃合の見直しを進めていかなければならないと考えております。</p>
委 員	確かに利用者がいると閉鎖が難しいことだと理解していますが、やはり財政との兼ね合いを考えますと、修繕費などもかかってきますので、計画的に削減を進めていけると良いと思います。
会 長	愛西市は広いので、それぞれの地域で作られてきた施設があって、地元の御意向もあると思いますので、非常に難しい議論をされていると思います。
副会長	<p>基本目標２の施策２－１のふるさと応援寄附者数の指標も達成率が６００％以上になっています。指標の目標値は次期総合戦略に向けて見直していく必要はあると思います。</p> <p>また、３０代ぐらいの転入者を対象に考えると、小学生ぐらいの小さい子どもがいることが想定されますので、基本目標３の子育て施策や学校教育に力を入れますと、多くの子育て世帯が愛西市を選んでくれる可能性はあると思います。</p>

委 員	<p>基本目標２の施策２－３、巡回バス利用者数は「B」評価ということですが、目標値が高すぎた要因もあったと思いつつ、コロナによる行動制限の要因もあったと思います。一方で、愛知県主導による人口問題対策検討会議の議論でも、移動手段をどう確保するのかを、地域課題として取り上げられていましたので、この巡回バスの利用者のところは、すごく重要な政策だと思っております。今後の技術革新によっては、バスが自動運転になり、ドライバーが減少しながらも稼働していくと思うので、今後の計画も必要だと思います。</p> <p>巡回バスの利用者数が当初の目標より少なくなったのは、ルート数がそもそも少ないのか、あるいはニーズがないのか、その辺りの課題はあるでしょうか。</p>
職 員	<p>コロナ禍における影響が一番大きかったと思っております。また、人口減少や、コロナ禍後の生活様式の変化によって利用が伸び悩んだと分析しております。</p>
委 員	<p>継続した利用の希望や、増便して欲しいといった要望などがありますか。</p>
職 員	<p>バス停を増やして欲しいという要望もありましたので、便数自体は変わっておりませんが、令和７年４月にルートや時間の改訂を行っております。</p>
委 員	<p>公共交通機関がどうしても他地域と比較して弱みになってしまうと考えます。インフラの維持費用も難しいところですので、ゆくゆくは自動運転などの仕組みも、ポテンシャルがあると思います。引き続きお願いします。</p>
委 員	<p>水道管の整備状況ですが、愛西市は非常に水に恵まれ、美味しい水をいただいています。今後の愛西市の水道の整備状況はどうですか。</p> <p>もう一つ、社会的な問題になっている教員不足ですが、愛西市の状況はどうですか。</p>
職 員	<p>水道管の耐震等の取組については、引き続き行っている状況と聞いております。</p>
委 員	<p>美味しい水が安く飲めると、市民の安心感が得られ、まちづくりの魅力としてプラスになると考えています。</p>
市 長	<p>愛西市は２つの事業ということで、佐屋、立田地区は、海部南部水道企業団が運営をしております。海部南部水道企業団は弥富市と飛島村と</p>

	<p>愛西市が運営をしている組織です。一方で、佐織、八開地区は愛西市が事業主体となって運営をしています。水道はほとんど愛知県から買っている状況です。自己水源は佐織にはありますが、厳しくなってきました。やはり水道料金を安く抑えようと思うと、耐震化や老朽化対策がどんどん遅れていってしまいます。また、県も水道料金の値上げをしています。水道の運営は全国的な問題にもなっていますが、愛西市においても非常に厳しい状況です。</p>
職 員	<p>教員不足は愛西市でもやはり問題になっています。教員自体は愛知県の教育委員会が配置しますが、病気等で一人欠けた時に講師を雇わないといけません。代替りの教員がなかなか見つからないという状況が、愛西市にもございます。</p>
委 員	<p>施策1－3のところで、レンコンをはじめとする農業で市のPRをしていくということは、非常に参同しています。しかし、もっとアグリテックとテクノロジーの活用で生産性を改善していくとか、若い方が取組やすくするとか、もう少し取り組んでも良いかと思います。</p> <p>また、農福連携の活動支援という項目もありますが、企業側は障害者雇用率の改善に非常に課題認識を持っています。企業の雇用率や、PRのために椎茸を企業側で栽培して地元の小売店に販売することで、地域を循環させていくといった取組が拡大していますので、そういう事も考えてみるとどうでしょうか。</p> <p>さらに、木曽川沿いの市町村は、海拔ゼロメートル地帯が多く、非常に災害リスクが高いエリアと認識しています。大規模災害に対しての備えは、こういったことをご検討していますか。</p>
市 長	<p>災害も色々な種類がありまして、地震や津波だけでなく、7月にもありましたが、線状降水帯による大雨などが考えられます。本市は日頃から排水機に頼った生活をしておりますので、河川等については土地改良区といった団体と共に、日頃から備えをしています。浸水すれば1週間ないし1か月は、この地域では生活がままならないと考えていますので、市民の方々に対し啓発活動をし、台風等は事前避難の呼びかけ等をしてしながら、地域を守る防災対策を行っています。</p>
委 員	<p>新規就農について、イチゴとレンコンは市の特産物になりますので、市と協働してイチゴやレンコン農家を増やしております。その中で、数名のイチゴの新規就農に対し教育しています。</p> <p>農福連携についても、企業と協力しながら農作業を応援する事業展開も行っている状況でございます。</p> <p>(3) 次期総合戦略の指標設定について</p>

委員代理	資料 3 の 4 ページ以降の、指標や取組方針に黒星がついていますが、何を指していますか。
事務局	星印は、新規の指標や取組につけております。
委 員	8 ページ目にございます空家件数について、今回の国勢調査の関係で地域を回ると、想像以上に空家件数が多く、なおかつ老人の 1 人世帯の一戸建て住居が想像以上に多い印象を受けました。想定を上回る推移で空家が増えていくことを懸念しています。空家を有効活用していかないと、この目標を達成するのは難しいと感じています。
職 員	<p>空家件数の実績値が 639 件となっておりますが、こちらは、水道の開栓状況を元に職員が現地を確認した結果となっております。一方で国の住宅土地統計調査ですと、空家件数は 2,300 件強となっております。そちらも推計値ということになっておりますが、調査方法によって少し数値が乖離をしています。</p> <p>現在、県と人口問題対策検討会議に取り組んでおり、私もワーキングチームに参加させていただいております。色々なテーマはあるものの、やはり今の市の課題としては、市街化調整区域が大部分というところにあると考えています。そうした中で、鉄道駅周辺部での市街化区域拡大を進めていくよう計画しております。一方で、立田地区、八開地区を主とした農地を基盤とする地区につきましては、今後、既存集落の維持に向けた取組も必要だと感じております。そうした部分では、都市計画法の開発許可の基準等を活用しつつ、新たな施策を県の方と研究していけたら良いと感じております。</p>
会 長	<p>ご指摘の通り、水道の開栓状態にあるのが 650 件程度に対し、実態として人が住んでいない家はかなり多いと言われております。</p> <p>また、愛西市は駅がたくさんあり、駅周辺にも市街化調整区域が多いと言われております。しかし、いくつかの手法を使えば、市街化調整区域のままでも家が建てられないということはないと思います。そこで、駅周辺の住宅地の供給や人口増みたいなことを、9 ページの指標に入れるのはどうですか。目標としてはすごくチャレンジングだけど、愛西市にとっては意味があるような気がします。</p>
市 長	非常にハードルが高いので、取組としては今担当が話したように進めていきますが、この指標の目標の令和 11 年度までに、実現可能かと問われると、非常に厳しいのではないかと感じています。

委 員	<p>新規就農事業のいちご担当の会長を何年もやっていますが、応募してくる方のほとんどが愛西市に移住を希望されています。その方に対して、建売り住宅を提供するだけでは無理で、住む家、倉庫、作業場という3点セットぐらい必要となります。市に移住するにあたって、毎回担当が住む家を探している状況ですが、産業振興課に問い合わせても情報は持ち合わせていませんとのことでした。空家問題に関して言いますと、移住できるところを紹介していただけると大変助かります。</p>
職 員	<p>空家バンクの制度も活用しており、ホームページを媒介して売りたい方の情報、貸したい方の情報を公開しています。一方で、空家が639件あるという情報につきましても、今後空家対策をしていく上で、共有していく必要性は感じるものの、個人情報の課題もございますので、前向きに考えつつも、柔軟に対応できるような施策を今後検討、研究していきたいと考えております。</p>
会 長	<p>新規就農者への農地の提供・確保というのは上手く進んでいますか。</p>
委 員	<p>農地に関しましては、かなり簡単と言いますか、対応できています。いちごに関しまして言いますと、空きハウスを農協の担当者と相談し、土地を集約して取り組んでおります。</p>
委 員	<p>5ページに道の駅「ふれあいの里 HASU パーク」を核とした観光イベントとありますが、道の駅は令和8年のグランドオープンを目指して、大分出来上がってまいりました。観光協会は道の駅に事務局を持っていますので、道の駅を利用して事業を展開していきたいと思っております。</p> <p>ただ、観光イベントは指定管理者と市当局、それから観光協会、その他の団体との調整が必要だと思います。こういったイベントができるかはまだ確定はしていませんが、私としては意見交換や事業の打合せ等が必要だと感じています。</p>
事務局	<p>指定管理者に任せっきりでなくて、行政としてお互いバランスをとりながら事業を進めていかなければならないと思っていますので、調整は必要だと考えております。</p>
委 員	<p>レンコンは海外に輸出されていますか。</p> <p>また、先程海拔0m地帯の話がありましたがタイも国土は0m地帯にあり、ダムが増水の問題で大洪水になったことがありました。タイも川が増水すると海拔0mですから町が浸かってしまうと思います。東南アジアでも技能実習生がいますが、外国人に対しての受け入れが非常に難しい状況です。技能実習生の受け入れで一番の課題が住居の確保です。農</p>

	<p>業実習性を活用した農業政策と連携ができればおもしろいと思うので受入体制ができれば良いと考えます。</p>
委 員	<p>レンコンは海外への輸出に向けて少しずつ進めております。ただ、海部地域のレンコンは泥付きレンコンということで、海外輸出は泥を付けて出せないという問題等も踏まえながら少しずつ進めていきます。</p>
会 長	<p>もう一点は、農業実習生をうまく活用して農業振興ができないか、そのためには住宅の確保が必要という意見だと思いますが、今の段階では御意見としてとっておくということによろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>6 ページに、質の高い教育環境の整備の取組方針があります。その中で、個別最適な学びの推進という主な取組がありますが、本校では農業課程の専門の学校から、定時制の生徒が来ています。年々、中学校から個別の支援計画を出される子が増加しています。色々な特性がありまして、中学校は卒業して行きますが、途中でどうしても通学できなくなってしまう人もいます。最終的にはみんな社会に貢献していくことが必要だと思うのですが、そういう特性を持った子達の働く支援は実施していますか。</p>
職 員	<p>就労継続支援 A や B というものがあり継続の支援を行っているところがあります。個人の能力や状況に合わせた継続的な支援によって、障害者の社会参画を推進するという方法を進めております。</p>
委 員	<p>その子達が相談する場所がありますか。</p>
職 員	<p>発展支援センターでは就労等の相談事業も行っておりますので、ご心配がありましたら、センターの方にお問い合わせいただければと思います。</p>
委 員	<p>次期総合戦略では、KPI 全体のフォーメーションも、前回計画からガラッと変わりました。いかに投資をして、税収を増やし、企業生産性を高めるだとか、ふれあいの里 HASU パークを中心に関係人口を増やし、外部からの収益を上げていくなど、すごく分かりやすい KPI の項目になっています。</p> <p>その中で、プロジェクト 1 で引き続き企業の誘致を進めていくことは素晴らしいと思いつつ、市内の既存企業をどう支援していくか、というアプローチがなかなか見えてこないと感じました。どのようなことを検討されているかお伺いしてもよろしいでしょうか。</p>

事務局	<p>既存企業についてのアプローチは、総合計画の方で包括的に進めていき、総合戦略は特出し項目として考えております。</p> <p>新規性のあるものが、今回のこの取組事項に上がっており、KPI の市内総生産も愛西市全体の事業が活性化していかないと、数値が上がらないものですから、こういったところも含めて KPI で、進捗管理して行こうと思っております。</p>
委員	<p>総合計画の方でも進めるということですが、企業を見ていると、外部環境の変化が凄まじいと感じます。デジタルの活用ですとか、カーボンニュートラルですとか、それから人手不足のため労働者がそもそも採用できませんといった、様々な課題がたくさんあるかと思います。既存企業へのアプローチも、是非特出してこちらの総合戦略の中に明記頂くと良いかなと考えます。</p>
委員	<p>支援は商工会ではやっておりまして、自分の商品を売り出そうということで、色々なことをやっています。国もそういう補助制度がありまして、それを使った出店企業をここ 4,5 年前からやっております。東京のビッグサイトとか、大阪の見本市とか、近場ですとポートメッセなど、出展する際に費用負担も増えてきますが、極力費用を少なくして出店しやすいようにというサポートはしております。</p>
会長	<p>総合計画に書くことのなかで、戦略の中に何が特だしできるのかを再度事務局でご検討ください。</p>
委員	<p>独自の財源で新しい補助金を作るとか、研究開発費を作っていくのは、財源的にも厳しいと思います。国や県の支援施策を、いかに市内企業に活用していただくかが非常に重要だと思っております。相談に来られる企業に情報提供するだけではなくて、市の方からプッシュ型で国県の支援メニューを提供していく。そこで、企業の困りごとを聞いて、ニーズ、課題を市の中で集約していくという仕組み作りをご検討いただきたいと思っております。それが、今回の KPI で新しく掲げた市内総生産の近道になる仕組みだと思っています。</p>
委員	<p>愛西市の PR を名古屋駅で見ましたが、今後もそういうことやっていくのでしょうか。マスコミをうまく使った方が広報活動として有意義だと思います。</p>
職員	<p>名鉄中央出口のデジタルサイネージを活用して先週月曜日から日曜日まで愛西市の PR をしていました。今後も新聞・メディア、テレビを活用しながら PR をしていきます。</p>

委 員	愛知県全体のケーブル局全部が集まって、10月にイベントがございます。そこに愛西市で出店いただいて、加工されたれんこんの販売や、PRをしていただいております、昨年も出店いただきました。そういった場があれば我々も一生懸命ご紹介していきます。
職 員	ケーブルフェスタですね。観光協会と一緒にご参加させていただきながら、PRできればと思いますのでよろしくお願いいたします。
委 員	れんこんのPRに関しては、金山でもやっております。 結構、れんこんはすぐ売れます。また、ご依頼があれば観光協会が出店やPRのお手伝いをしたいと思っています。
委 員	新規就農の支援について、就農されてからの活躍はどうなっていますか。農業は一人ではできないので、住居、農地などを提供した後、どういう活動をしているのでしょうか。収穫は一人ではできないでしょうし、その作業状況を教えていただきたいと思います。
委 員	まだ、いちご農家に就農をしたものが一人です、その方につきましては、ご家族で就農されて、昨年度はお父さんまでお手伝いをされました。就農に関していいですと、5年、10年の計画を立てまして、計画に沿ってサポートをしていただいておりますので、心配ありません。 技術の方につきましては、僕ら農家が、逐一、こまめに見回っており、そういうことを継続していきたいと思っています。
委 員	デジタルサイネージを駅で見ました。今までにない取組だったと思いますし、たくさんの通行人の方に見てもらえるので、すごく良い取組だと思いました。ぜひ継続していただきたいです。 また、愛西市は全国で何の要素を持ってナンバーワンになるのかを是非一緒に考えていければ良いと考えておりました。特産品として、レンコン、イチゴみたいなところも、すごく誇れる部分かなと思います。しかし、関東の産地と比較すると生産力は負けており、何がナンバーワンかと言うと難しいところもあると思っています。特産品以外の要素も含めて、僕らが全国、何が一番なのか、どこにも負けない要素はなにかを、中長期的に考えていく視点も重要だと考えております。
会 長	他によろしいでしょうか。 その他について次回のスケジュールをご案内の方お願いいたします。
	4. その他

	<p>＜今後のスケジュールについて説明＞</p>
会 長	<p>パブコメの前に戦略の案は、事前に委員の皆さん方にお送りいただけますか。</p>
事務局	<p>はい。今回ご審議いただいたところで、特に指標の変更は無かったと感じております。一部取組については検討が必要な部分はあったと思うので、修正した上で総合計画審議会に上げたいと思います。そのご案内ということで、今回の資料３の最終形を皆様にご通知を差し上げます。</p>
会 長	<p>今説明があった段取りで進めていくということです。</p> <p>では、今日予定されていた議事は以上ですので、これで終わりたいと思います。ありがとうございました。</p>
	<p>閉会</p>